



## 平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年1月24日

上場取引所 東 大

上場会社名 株式会社 日立ハイテクノロジーズ

コード番号 8036 URL <http://www.hitachi-hitec.com/>

代表者 (役職名) 執行役社長 (氏名) 久田 眞佐男

問合せ先責任者 (役職名) コーポレート・コミュニケーション部長 (氏名) 加藤 弘之

TEL 03-3504-5138

四半期報告書提出予定日 平成24年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満四捨五入)

### 1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	472,748	△3.1	17,817	△8.2	18,503	△8.0	13,545	1.8
23年3月期第3四半期	487,947	14.3	19,414	—	20,118	—	13,307	—

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 11,533百万円 (△2.1%) 23年3月期第3四半期 11,778百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	98.48	—
23年3月期第3四半期	96.75	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	422,935	250,251	59.1
23年3月期	413,267	242,845	58.7

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 250,054百万円 23年3月期 242,711百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
24年3月期	—	20.00	—		
24年3月期(予想)				10.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

24年3月期第2四半期末配当金の内訳 普通配当 10円00銭 記念配当 10円00銭

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	640,000	△2.1	24,000	△14.0	24,000	△18.6	13,000	△26.8	94.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 ― 社 (社名) 、 除外 ― 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料5ページ「2. サマリー情報(その他)に関する事項 (2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	137,738,730 株	23年3月期	137,738,730 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	199,630 株	23年3月期	199,127 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	137,539,413 株	23年3月期3Q	137,541,371 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続が実施中であります。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成されたものであります。

実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報

(3)平成24年3月期 通期の業績予想」をご覧ください。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	P. 2
(1) 当第3四半期連結累計期間の概況 .....	P. 2
(2) セグメント別の概況 .....	P. 2
(3) 平成24年3月期 通期の業績予想 .....	P. 3
(4) キャッシュ・フローの状況 .....	P. 4
2. サマリー情報(その他)に関する事項 .....	P. 5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	P. 5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	P. 5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	P. 5
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要 .....	P. 5
4. 四半期連結財務諸表 .....	P. 6
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	P. 6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	P. 8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	P. 10
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	P. 11
(5) セグメント情報等 .....	P. 11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	P. 12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 当第3四半期連結累計期間の概況

当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高 472,748 百万円(前年同四半期連結累計期間(以下、前年同期)比 3.1%減)、営業利益 17,817 百万円(前年同期比 8.2%減)、経常利益 18,503 百万円(前年同期比 8.0%減)、四半期純利益 13,545 百万円(前年同期比 1.8%増)となりました。

### (2) セグメント別の概況

#### 電子デバイスシステム

半導体製造装置は、エッチング装置が、海外大手半導体メーカーの微細化投資を背景に、米国市場向けを中心に大幅に増加しました。測長 S E M は、当期前半は、アジア・欧米市場を中心に、海外大手半導体メーカーによる大型設備投資があったものの、後半にかけて顧客の設備投資が後倒しになったことにより微減となりました。チップマウンタは、タイ洪水による緊急の需要増加もみられたものの、価格競争の激化もあり、ほぼ横ばいに推移しました。ダイボンダは、アジア市場におけるメモリー市場の低迷を受けた設備投資の延期等により、大幅に減少となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は 74,493 百万円(前年同期比 10.7%増)、経常利益は 6,774 百万円(前年同期比 3.5%減)となりました。

#### ファインテックシステム

F P D 関連製造装置は、テレビ用液晶パネルの価格下落等による、液晶パネルメーカーの収益悪化を背景に、露光装置を中心に大幅に減少しました。ハードディスク関連製造装置は、業界再編やタイ洪水の影響による設備投資延期により、大幅に減少しました。

以上の結果、当セグメントの売上高は 17,151 百万円(前年同期比 42.8%減)、経常損失は 4,230 百万円(前年同期は 1,221 百万円の経常利益)となりました。

#### 科学・医用システム

分析計測機器・解析装置は、解析装置を中心とする新製品の販売等により増加しました。医用分析装置は、新製品の立ち上げ等により、海外市場向けを中心に好調に推移しました。DNA シーケンサは、新製品投入効果等により増加しました。

以上の結果、当セグメントの売上高は 104,832 百万円(前年同期比 24.4%増)、経常利益は 15,183 百万円(前年同期比 75.1%増)となりました。

#### 産業・I T システム

自動組立システムは、電子デバイス市況の低迷等により低調に推移しました。ハードディスクドライブは、震災によるサプライチェーンへの影響等により、大幅に減少しました。通信用機器は、米国市場向け携帯電話が新規モデル立ち上げ等により大幅に増加しました。

以上の結果、当セグメントの売上高は 85,886 百万円(前年同期比 0.7%増)、経常損失は 18 百万円(前年同期は 72 百万円の経常利益)となりました。

#### 先端産業部材

工業材料は、顧客の生産調整の影響を受け、液晶テレビ用樹脂原料等が大幅に減少しました。シリコンウェーハ及び液晶関連部材は、震災による顧客の生産停止の影響や製品需要の後退等により大幅に減少しました。光通信関連部材は、新興国市場向けの需要が低迷したこと等により減少しました。

以上の結果、当セグメントの売上高は 197,567 百万円(前年同期比 13.7%減)、経常利益は 706 百万円(前年同期比 68.7%減)となりました。

#### (3)平成 24 年 3 月期 通期の業績予想

世界経済は、米国の雇用環境の改善遅れや、タイでの洪水被害に加え、欧州の財政不安の深刻化等により、先進国に加え、中国をはじめとした新興国においても景気悪化傾向が見られ、世界的にマクロ経済への懸念が拡大しております。

世界景気の減速に伴うエンドプロダクト需要減による顧客の設備投資抑制や、米ドルに加え、ユーロに対しても歴史的な円高に拍車がかかっており、当社を取り巻く環境は、全体的に非常に厳しい状況となってきました。個別市場では、半導体製造装置市場においては、微細化・先端投資には積極的なものの、パソコンや液晶テレビの需要減等により、量産投資には慎重な動きが見られます。FPD関連製造装置市場は、中国大陆における液晶パネル生産投資計画の遅延から、投資規模・時期が依然不透明な状況にあります。またハードディスク関連製造装置市場においては、業界再編等により、市場成長の一時的な鈍化が予想されます。科学・医用システム関連市場は、欧州及び中国を中心としたアジア諸国向けの需要は堅調と予測されますが、価格競争の激化等が懸念されます。産業・ITシステム、先端産業部材関連市場では、マクロ経済の鈍化により、顧客の投資や原材料・部材などの需要は頭打ちになっており、本格的な回復には時間がかかると予想されます。

以上により、当社は平成24年3月期で、売上高640,000百万円(前期比2.1%減)、営業利益24,000百万円(前期比14.0%減)、経常利益24,000百万円(前期比18.6%減)、当期純利益13,000百万円(前期比26.8%減)を業績予想としております。

今後とも、ハイテク・ソリューション事業におけるグローバルトップを目指すとともに、最先端・最前線の事業創造企業として、顧客及び市場のニーズにスピーディーに対応し、業績予想の達成を目指してまいります。

#### (4) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は117,898百万円となり、前連結会計年度末より10,193百万円増加しました。当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とその主な要因は以下の通りです。

##### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、売上債権、たな卸資産、仕入債務の運転資金負担が減少したこと等により前年同四半期連結累計期間(以下、前年同期)に比べて24,900百万円増加し、24,998百万円の収入となりました。

##### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、その他の資金運用による支出が増加したこと等により前年同期に比べて16,266百万円減少し、8,710百万円の支出となりました。

以上により、営業活動によるキャッシュ・フローと投資活動によるキャッシュ・フローを合計したフリー・キャッシュ・フローは前年同期に比べて8,634百万円増加し、16,288百万円の収入となりました。

##### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、第2四半期末配当金にて記念配当を実施したこと等により前年同期に比べて1,187百万円減少し、4,128百万円の支出となりました。

当社グループの財務政策として、業容拡大に伴う運転資金及び研究開発投資・設備投資に対応するための適切な流動性の維持と資金の確保、並びに健全なバランスシートの維持を図りながら、財務基盤の強化を行ってまいります。

## 2. サマリー情報(その他)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

#### ① 原価差異の繰延処理

操業度により発生した原価差異に関して、原価計算期間末までにほぼ解消が見込まれる場合は、当該原価差異を流動資産又は流動負債「その他」として繰り延べております。

#### ② 税金費用の計算

当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表  
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	24,968	25,313
受取手形及び売掛金	130,093	116,751
有価証券	80	70
商品及び製品	27,442	30,955
仕掛品	38,366	41,669
原材料	3,030	3,594
関係会社預け金	80,609	94,343
その他	27,386	26,572
貸倒引当金	△1,552	△1,462
流動資産合計	330,422	337,806
固定資産		
有形固定資産	53,873	58,533
無形固定資産		
のれん	1,095	856
その他	5,155	5,303
無形固定資産合計	6,249	6,159
投資その他の資産		
その他	23,739	21,350
貸倒引当金	△1,016	△913
投資その他の資産合計	22,723	20,438
固定資産合計	82,846	85,129
資産合計	413,267	422,935



(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	94,920	95,893
未払法人税等	3,965	6,415
製品保証引当金	2,227	2,083
災害損失引当金	1,082	405
その他	40,679	39,947
流動負債合計	142,874	144,743
固定負債		
退職給付引当金	26,323	26,918
役員退職慰労引当金	306	288
その他	920	735
固定負債合計	27,549	27,941
負債合計	170,423	172,684
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	7,938	7,938
資本剰余金	35,745	35,745
利益剰余金	200,920	210,339
自己株式	△325	△326
株主資本合計	244,279	253,696
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,314	3,081
繰延ヘッジ損益	15	146
為替換算調整勘定	△4,897	△6,870
その他の包括利益累計額合計	△1,568	△3,643
少数株主持分	134	197
純資産合計	242,845	250,251
負債純資産合計	413,267	422,935

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
売上高	487,947	472,748
売上原価	406,484	390,829
売上総利益	81,463	81,920
販売費及び一般管理費	62,049	64,103
営業利益	19,414	17,817
営業外収益		
受取利息	225	294
受取配当金	119	132
雑収入	670	728
営業外収益合計	1,015	1,153
営業外費用		
支払利息	59	52
固定資産処分損	183	271
雑損失	68	143
営業外費用合計	310	467
経常利益	20,118	18,503
特別利益		
保険差益	—	4,097
固定資産売却益	—	3
投資有価証券売却益	42	59
会員権売却益	23	5
特別利益合計	64	4,164
特別損失		
災害による損失	—	580
減損損失	153	97
投資有価証券評価損	20	2
投資有価証券売却損	1	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	303	—
環境対策費	212	—
特別損失合計	689	679
税金等調整前四半期純利益	19,494	21,988
法人税等	6,121	8,377
少数株主損益調整前四半期純利益	13,373	13,611
少数株主利益	65	67
四半期純利益	13,307	13,545

【四半期連結包括利益計算書】  
【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	13,373	13,611
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△215	△233
繰延ヘッジ損益	687	131
為替換算調整勘定	△2,067	△1,976
その他の包括利益合計	△1,595	△2,078
四半期包括利益	11,778	11,533
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	11,733	11,470
少数株主に係る四半期包括利益	45	63

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	19,494	21,988
減価償却費	6,419	6,411
減損損失	153	97
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	303	—
のれん償却額	245	239
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	693	626
その他の引当金の増減額 (△は減少)	255	△948
受取利息及び受取配当金	△344	△426
支払利息	59	52
売上債権の増減額 (△は増加)	2,683	10,096
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△19,551	△10,030
仕入債務の増減額 (△は減少)	△2,447	4,664
その他の資産・負債の増減額	△4,850	△2,792
その他	△87	158
小計	3,025	30,136
利息及び配当金の受取額	336	402
利息の支払額	△13	△14
法人税等の支払額	△3,249	△5,527
営業活動によるキャッシュ・フロー	98	24,998
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△406	—
定期預金の払戻による収入	45	5
有価証券の売却による収入	17	1
有形及び無形固定資産の取得による支出	△4,128	△6,249
有形及び無形固定資産の売却による収入	449	75
投資有価証券の取得による支出	△9	△243
投資有価証券の売却による収入	58	138
会員権の売却による収入	26	11
貸付金の回収による収入	0	—
事業譲受による支出	△3,315	—
その他	14,819	△2,447
投資活動によるキャッシュ・フロー	7,556	△8,710
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△2,745	△4,118
その他	△196	△10
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,941	△4,128
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,385	△1,967
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,329	10,193
現金及び現金同等物の期首残高	90,188	107,704
現金及び現金同等物の四半期末残高	92,517	117,898

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)

① 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	電子デバイス システム	ファイン テック システム	科学・医用 システム	産業・IT システム	先端産業 部材	計				
売 上 高										
外部顧客への売上高	67,183	29,927	83,448	79,276	227,576	487,410	536	487,947	—	487,947
セグメント間の内部 売上高又は振替高	111	48	807	6,014	1,484	8,464	1,272	9,736	△9,736	—
計	67,294	29,974	84,255	85,290	229,060	495,874	1,809	497,683	△9,736	487,947
セグメント利益 又は損失(△)	7,022	1,221	8,673	72	2,254	19,242	△243	18,999	1,119	20,118

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、間接補助事業等を含んでおります。

② 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	19,242
「その他」の区分の損失	△243
セグメント間取引消去	△10
配分していない全社ののれんの償却額	△73
社内借入金に対する利子の戻入額	668
その他の調整額(注)	535
四半期連結損益計算書の経常利益	20,118

(注) その他の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費、営業外収益及び営業外費用であります。

③ 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

①報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	電子デバイス システム	ファイン テック システム	科学・医用 システム	産業・IT システム	先端産業 部材	計				
売上高										
外部顧客への売上高	74,258	17,135	103,940	80,715	196,096	472,144	604	472,748	—	472,748
セグメント間の内部 売上高又は振替高	235	16	892	5,171	1,471	7,786	2,839	10,625	△10,625	—
計	74,493	17,151	104,832	85,886	197,567	479,930	3,443	483,373	△10,625	472,748
セグメント利益 又は損失(△)	6,774	△4,230	15,183	△18	706	18,416	△705	17,710	793	18,503

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、間接補助事業等を含んでおります。

②報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)  
(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	18,416
「その他」の区分の損失	△705
セグメント間取引消去	△11
配分していない全社ののれんの償却額	△67
社内借入金に対する利子の戻入額	588
その他の調整額(注)	284
四半期連結損益計算書の経常利益	18,503

(注)その他の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費、営業外収益及び営業外費用であります。

③報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

(6)株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。